

「指標確認シート」を活用した校内研修の進め方

1 目的

各教員が「指標確認シート」を活用し、自己分析や目標設定、振り返りを行うことを通して、キャリアステージに応じた、教員としての資質・能力の向上を図るための方策を考える。

2 時間

- 目標設定（60分～90分）
- 振り返り（30分）※必要に応じて複数回実施

実施回数の設定例 ●・・・目標設定 □・・・振り返り

パターン	前年度末	4月	7月	12月	3月
A		●	□	□	□
B			●	□	□
C	●		□	□	□

3 班編成 1班4名～6名程度（キャリアステージの異なる教員で編成）

4 準備物（次の①～⑤を準備してください）

① 「教員のキャリアステージにおける指標」 PDF

- A4で参加人数分を印刷

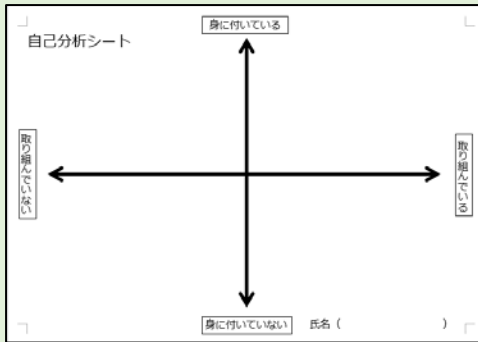
② 「指標確認シート」(キャリアステージ別にとじたもの) PDF



「基盤形成期」「資質・能力向上期」「資質・能力充実期」「資質・能力発展期」の4種類があります。

- 参加者のキャリアステージを確認して、キャリアステージごとに必要部数を印刷

③ 「自己分析シート」 A3 PDF



「キーワードシール」 エクセル

学び続ける向上心	えひめ人材育成力	審美能力
使命感・倫理観	組織運営力	教科指導能力
豊かな人間性	学校安全の意識・危機管理能力	ICT活用能力
人権感覚・人権意識	協働性・円滑性	学級経営力
読解・教養	対人関係力	生涯学習力 教育活動力
心身の健康	地域と連携 協働する力	特別支援教育実践力
審美能力	学び続ける向上心	えひめ人材育成力
教科指導能力	使命感・倫理観	組織運営力
ICT活用能力	豊かな人間性	学校安全の意識・ 危機管理能力
学級経営力	人権感覚・人権意識	協働性・円滑性
生涯学習力・ 教育活動力	読解・教養	対人関係力
特別支援教育実践力	心身の健康	地域と連携・ 協働する力

現在の自分自身の資質・能力を視覚化するために使用します。自分の姿を振り返りながら 18 のキーワードのシールをシート上に配置します。

- A3 で参加人数分を印刷

「自己分析シート」に貼るシールです。

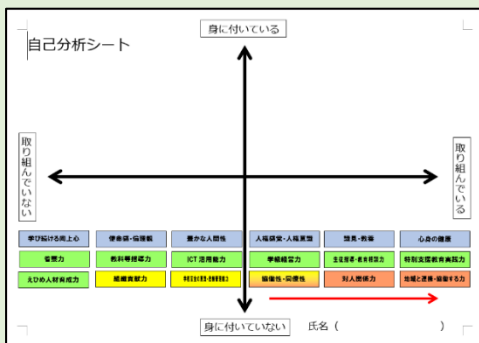
- ラベルシール又は普通紙に印刷
- A4で印刷（1シートに2人分）
- 普通紙に印刷した場合は、のりが必要

※「自己分析シート」（デジタル版）を使う場合は、印刷は不要です。

③と③'はどちらか選択して使ってね!



③' 「自己分析シート」（デジタル版） ワード



コンピュータ上で、キーワードをドラッグして配置し、印刷することで「自己分析シート」が完成します。研修で、個人別のコンピュータが使用可能な場合にご利用ください。

④ 「個人目標設定シート」 A4 PDF



今後、資質・能力の向上に向けて、目標とその具体的な手立てをまとめるために使用します。

- A4 で参加人数分を両面印刷
- 裏面に記入例あり

⑤ その他

- ・ 赤マジック（目標設定の時に使用）、青マジック（振り返りの時に使用）
- ・ のり（キーワードを普通紙に印刷した場合に使用）

「指標確認シート」を活用した校内研修の進め方（目標設定） 60分～90分

1 教員のキャリアステージにおける指標のチェックと自己分析（45分）

- ① 「指標確認シート」の「自分の姿を振り返って」を使い、A～Dでチェックを行います。

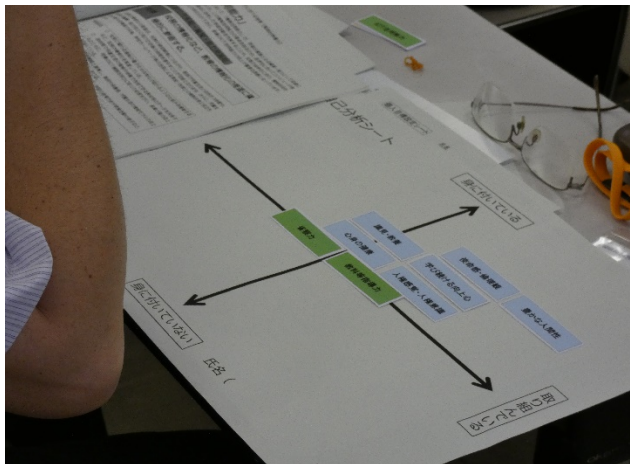


1キーワードにつき1分程度でチェックしてもらうよう時間設定しましょう。また、チェック表はあまり厳しくつけないように伝えましょう。



※ 研修全体を60分で行う場合は、「指標確認シート」事前に印刷し、「自分の姿を振り返って」のチェック欄を研修までに各自で行っておきます。

- ② 18のキーワードを自己分析シートに配置し、貼ります。



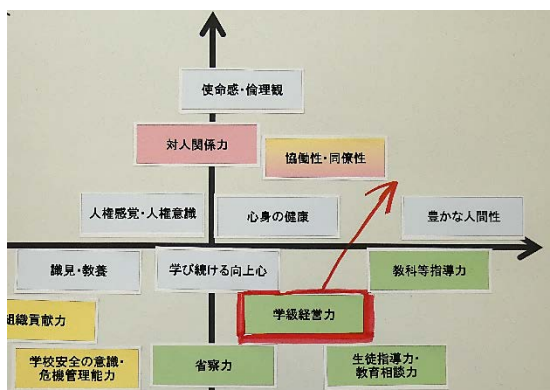
60分で行う場合はここからスタート！

キーワードはチェック表を参考に配置し、位置が決まったら貼ってもらいましょう！



2 目標の設定（30分）

- ① 自分が今後高めたいキーワードを一つ取り上げ、目標を矢印（赤）で表します。



身に付いていない、取組が少ないものだけにとらわれず、さらに力を伸ばしたいものを選んでもいいことを伝えておきましょう！



② 個人目標設定シートを記入する。

指標 キーワード「学級経営力」 II 発表 期

広い視野を持ち、全学年と見通した学級経営を推進する。

具体的目標

- 一人一人が活躍できる場を作り、互いに伸びようとする学級・学年を作る
- 教師間の役割分担を明確にし、笑顔で仕事ができる学級・学年を作る。

目標への手立て

いつまでに	何をするか	振り返り
2学期までに (学年)	運動会、いきいきなどの行事についてある程度計画を立てておき、共通理解を図る。	/ /
2学期までに (クラス)	1学期の反省をもとに、クラスの子どもの実態を考慮した役割分担の方法を考えておく。	/ /

① 取り上げたキーワード、キャリアステージを記入しましょう。

② 選んだキーワードの指標を記入しましょう。

③ 具体的目標を記入しましょう。

④ 具体的目標を達成するため、いつまでに、何をするかの手立てをまとめましょう。

指標確認シートの具体的な姿を参考にしたり、グループで相談したりして、手立てが抽象的にならないよう注意しましょう。



3 グループでの発表・意見交換（15分）

- ① 自己分析シートを基に、現在の姿を要約して説明し、高めたいキーワードを選んだ理由を発表する。
- ② 目標設定シートを基に、具体的目標と手立てを発表する。
- ③ 指標に従って適切な目標設定ができているか互いにアドバイスする。
(質問や、もっと詳しく教えて!といったものでもOK)
- ④ 全員発表が終わったら、アドバイスを参考に実践目標を修正する。



他の人がどんな目標を立てたのか確認しましょう。目標が、キャリアステージの指標にあっているか、目標達成に向けた手立てが適切か、ほかの方法がないか等アドバイスし合うよう伝えましょう!

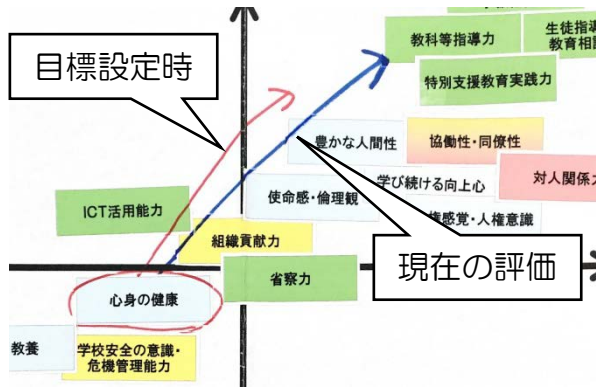


- ※ 「自己分析シート」と「個人目標設定シート」は次回の研修でも使用するの、なくさないようにしましょう。
- ※ 完成した「個人目標設定シート」は、目標を意識するために、いつでも確認できるところに貼るなどしておきましょう。

「指標確認シート」を活用した校内研修の進め方（振り返り） 30分

1 自己分析シートの中間チェック（5分）

前回の自己分析シートを配布し、矢印（赤）を付けた伸ばしたいキーワードについて振り返り、現状を矢印（青）で記入する。

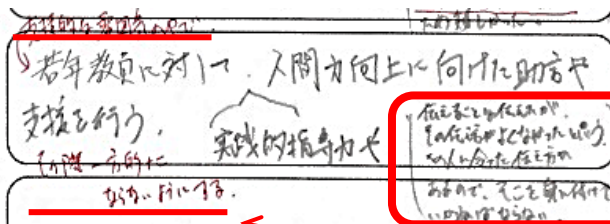


振り返りの時期や回数は自由に設定してください。



2 具体的目標の振り返り（15分）

個人目標設定シートの手立てについてチェックを行い、手立ての振り返りを行う。



① 個人目標設定シートの目標達成の手立てについて振り返り、うまくいった又はうまくいかなかった原因を目標設定シートにメモしましょう。

② 今後取り組みたい目標達成のための手立て（修正案）を赤で加筆、修正しましょう。

3 意見交換（10分）

グループ内で、今後取り組みたいこと（手立て）について紹介し合う。



改善した手立てをグループで紹介しましょう。いいアイデアがあれば、お互い教えてあげるよう伝えましょう！



※以降の振り返りも同様の形式で行います。